

渡辺 厳太郎 市政通信 第5号

町田市議会議員（新人）

渡辺げんたろう活動報告

玉川中央幼稚園
町田市立第五小
町田市立南大谷中
都立町田高校

日本大学法学部法律学科卒
新光証券（現みずほ証券）勤務
保険代理店勤務

渡辺げんたろう プロフィール

- ・町田市消防団第一分団第五部 部長
- ・エイサー「町田琉」 二代目会長
- ・町田消防少年団 指導員
- ・神輿会「幸神睦」 会員

- 健康福祉常任委員会委員
- 町田市民生委員推薦会委員
- 決算特別委員会委員



◇ 町田市にガン放射線治療の導入を！

日本人に最も多い死亡原因は、皆様もご存じのとおり「ガン」です。日本人のうち2人に1人は一生のうちにガンを患い、3人に1人はガンで亡くなる時代です。

ここ町田市でも、年間死亡者数の34.2%の死亡原因がガンという現状です。

国は、ガン対策に向けた法律を整備し、今後は手術と比べて普及が遅れている放射線治療と化学療法を、特に推進していくこととしています。

しかし、町田市民病院にはガンの放射線治療施設がありません！

最先端のガン治療の現場を研究

私はこの状況はおかしいと思い、ガンの先進治療を行っている兵庫県粒子線センターや京都大学原子炉実験所を訪れ、最先端のガン治療の現場を研究してきました。また、岐阜県大垣市民病院や神奈川県大和市民病院では、ガンの総合的な治療について研究してきました。

訪れた施設のうち、兵庫県粒子線センターは「ガンが直接の原因で亡くなる方は0だ」と豪語するほどの技術や設備を備えていました。

町田市民病院には、ガン治療の緩和ケア病棟があります。これは、病気の苦しみを緩和させることで余命を延長させ、回復力の向上を図る効果があります。しかし、その利用率は40%台と大変低く、経営的にも問題がある状況です。放射線治療施設があつてこそ、従来からの緩和ケア病棟の存在意義も上がるのです。

「夢だ」と言われても

私はこの2年半、町田市議会において、放射線治療を導入する必要性、有用性を訴えてきました。それに対し当初は、医師不足、費用、場所などを理由に「そんなものは夢だ」と一蹴されてきました。しかし、議会は未来を語る場所です！今当たり前だと思われることも、10年前には夢だったはずです。夢だと言われても粘り強く、実現への可能性をひとつずつ発表してきました。

町田市にガン放射線治療の導入を求めて

ガンを患った場合は誰しも、技術や設備が整った施設で治療をしたいと望むのは当然なことです。町田市民病院に放射線治療施設があれば、より質の高いガン治療を提供するための、大きな一歩が踏み出せます。

人口23万人の大和市でも「地域がん診療連携拠点病院」の認定を目指すと断言しています。
人口43万人の町田市が、出来ないはずがないのです。

夢だと言われながらも、私が町田市議会で2年半訴え続けてきたところ、町田市の考えや対応の流れは徐々に変わってきました。未だ決定的な改善には及んでいませんが、やっと、町田市民病院が単体で考えられることではなく、町田市も病院と一緒に取組んでいかななくてはならないことだという認識が生まれ、課題について研究していくという意見が出されています。

まだまだ道半ばですが、今後も「ガンの放射線治療を求めて」研究を続け、町田市議会で発言し、実現に向けて努力してまいります。

◇ 町田市の災害対応力を向上させたい！

高い確率で発生が予測されている首都直下型大地震への備えが必要となっている昨今ですが、大規模災害時には、単独の市町村にとどまらず広域的な対応が必要です。

町田市は、周囲に横浜市や川崎市、アメリカ陸軍総合補給廠などが隣接しているのに、県境や行政規模の違いで、災害時提携を結んでいないという現実がありました。我々住民にとって災害時は、県境も人口規模も関係ありません。必要なのは、迅速・的確な災害対応が実施されることのみです。

そこで私は、町田市の災害対応力を高めるため、災害時提携を推進するべく奔走してきました。

その結果、アメリカ海軍厚木基地との災害時応援協定が2011年2月24日に実現し、横浜市との災害時相互応援協定は2011年11月11日に実現しました。

座間市長との面会

横浜市との協定が実現した後は、相模原市にある在日アメリカ陸軍相模総合補給廠や、川崎市との災害時応援協定を目指して活動してきましたが、簡単には進みません。

その中で先日、座間市の遠藤市長と面会することが出来ました。

(写真：座間市長と)

座間市には在日アメリカ陸軍の指令本部が移設しており、今後は災害対応能力の大変高い陸上自衛隊中央即応集団の司令部も移転してくることが予想されます。

面会の約束をいただくまでには7か月かかりましたが、遠藤市長は大変お忙しいにも関わらず、たっぷり2時間会談させて頂き、今後の活動への協力も快諾して頂きました。

近いうちに、皆様に良いご報告が出来るようさらに邁進してまいります。



◇ 生ゴミのメタン化処理施設を求め ～注目しててください！～

町田市の燃えるゴミの半分は生ゴミで、その80%は水分です。「燃える」ゴミといっても、実は水分を燃やすためには、過大なエネルギーを必要としています。もったいないと思いませんか？

ゴミを燃やすのにエネルギーを使うのではなく、ゴミからエネルギーを作れないでしょうか！

日本には、生ゴミを原料としてメタンガスを抽出し、バイオエネルギーとして活用し、発電する技術があります。私はこの生ゴミのメタン化処理施設を町田市に導入するべく、現在奔走中です！

党利、党略、政局よりも、町田が良くなることを第一義に！

◆ フェイスブック（渡辺徹太郎） → 日々の活動を掲載しています。是非ご覧ください！

◆ E-mail：gentaro_watanabe@ybb.ne.jp TEL/FAX：050-1458-8629

時間の都合上、ご返信できないこともあります。いただいたご意見は全て拝読しております。

*留守番電話には必ずお名前と電話番号を入れてください。

「まちだ新世紀」便り